

講義コード	201018G
講義科目名称	国際保健学【作業療法】
英文科目名称	Global Health
講義期間	前期
学科	適用 - リハビリテーション学科作業療法学(2025)
配当年	1
単位数	2
科目必選区分	選択
授業形態	講義
担当教員	天野 修司
曜日・時限	前期 月曜日 2時限 3 1 2 教室
関連するディプロマポリシー	DP DP DP

授業概要	いまだ世界には、3大感染症（エイズ、マラリア、結核）や顧みられない熱帯病などの感染症で苦しんでいる人々が大勢いる。近年では、精神疾患や気候変動なども、グローバルな公衆衛生上の課題として捉えられるようになった。国際保健学では、これらの地球レベルで人々の健康に影響を与える課題についての理解を深める。
学修の到達目標	人々の健康に影響を与えるグローバルな課題についての正しい知識を得て、解決策につなげるための思考および行動ができるようになる。
予習・復習の内容およびそれに必要な時間	予習：毎回の授業で、新しい知識を身につけるので、予習は必要としない。 復習：新聞やテレビ、ネットなどで、国際保健に関連するニュースを確認し、授業の内容との関連性について考える（45 - 60分）。研究発表に向けて、書籍やネットを使って調べ学習を行う（30分）。
成績評価の方法・基準	毎回のレポート課題（60%）、研究発表（30%）、最終レポート（10%）で評価する。
試験・レポート等に対するフィードバックの方法	中間レポートおよび研究発表のフィードバックは、授業中に行う。最終レポートのフィードバックは、ノート返却時に行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.					
2.					
3.					

参考図書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.					
2.					
3.					

教員からのメッセージ	グローバルな課題についての理解を深め、国際的な感性を持った医療人になろう。		
当該科目に関連する職歴と科目への活かし方	実務経験の有無:		
その他			
参考URL	表示名:		
	URL:		
授業方式	オンライン授業	対面授業	併用
		○	

	回数	テーマ	内容
授業計画	1	概論	国際保健学の全体像と、現代的意義を理解する
	2	ミレニアム開発目標	開発分野における国際社会共通の目標について理解する
	3	3大感染症と顧みられない熱帯病について	3大感染症と顧みられない熱帯病について理解する
	4	グローバル・ヘルス・セキュリティ	新型コロナウイルスやエボラウイルスなど国境を越えて広がる生物学的な脅威について考察する
	5	国際保健分野における日本の取組み	国際保健分野における日本の取組みについて理解する
	6	環境問題	環境問題が人間の健康に与える影響について理解する
	7	21世紀の健康問題	アメリカを例に21世紀の健康問題を理解する
	8	ポストコロナの世界	ポストコロナの世界について考察する
	9	研究発表準備(1)	途上国・先進国における健康の諸問題について調査する
	10	研究発表準備(2)	途上国・先進国における健康の諸問題について調査する
	11	研究発表(1)	途上国・先進国における健康の諸問題について説明できる
	12	研究発表(2)	途上国・先進国における健康の諸問題について説明できる
	13	研究発表(3)	途上国・先進国における健康の諸問題について説明できる
	14	最終レポート(1)	最終レポートの作成を通じて、健康の諸問題について説明できる
	15	最終レポート(2)	最終レポートの作成を通じて、健康の諸問題について説明できる

授業計画	回数	テーマ	内容
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			